

1日目	12月12日	2階 ホール	1階 会議室 3	1階 会議室 2	1階 会議室 1
10:30	第3回定例理事会 10:30-12:00 90 min.				
12:00	休憩 12:00-12:15				
12:15	編集委員会 12:15-13:15 60 min.				
13:15	休憩 13:15-13:30	特別セッション 「経済政策の行動経済学」 座長: 櫻川昌哉(慶應義塾大学)	一般報告セッション A 行動ファイナンス 座長 岡田克彦(関西学院大学)	一般報告セッション B インセンティブ・評価・労働 座長 大竹文雄(大阪大学)	一般報告セッション C 実証行動経済学 座長 晝間文彦(早稲田大学)
13:30	一般報告セッション 特別セッション 13:30-15:45 135 min.	13:30-14:15 論題: 政治的意思決定におけるマーフィーの法則 講演: 村瀬英彰(名古屋市立大学)	13:30-14:15 論題: ストック・オプションと企業の収益性-オプション価格評価額に基づく実証分析- 報告: 花崎正晴(日本政策投資銀行設備投資研究所) 討論: 内田交謹(九州大学)	13:30-14:15 論題: 隣人はあなたをやる気にさせるか?: 実験室実験によるアプローチ 報告: 山根承子(大阪大学) 討論: 木成勇介(名古屋商科大学)	13:30-14:15 論題: Decision to get influenza vaccination: A behavioral economic approach 報告: 筒井義郎(大阪大学) 討論: 依田高典(京都大学)
14:15		14:15-15:00 論題: 現状維持の政策決定について 講演: 福田慎一(東京大学)	14:15-15:00 論題: 株価モメンタムと出来高の関係-投資家の株価トレンド追従行為からの解明 報告: 三輪宏太郎(東京海上アセットマネジメント投信) 討論: 三隅隆司(一橋大学)	14:15-15:00 論題: 公正感とはいかなる知覚か 報告: 江夏幾多郎(名古屋大学) 討論: 高橋 潔(神戸大学)	14:15-15:00 論題: 主観的幸福度のセルフコーディング手法の開発: カレンダー・マーキング法 報告: 佐伯政男(慶應義塾大学) 討論: 山根智沙子(新潟産業大学)
15:00		15:00-15:45 論題: 中央銀行と民間部門との双方向コミュニケーション 講演: 木村 武(日本銀行) 青木浩介(LSE)	15:00-15:45 論題: 昭和と平成における日本のヒット曲=流行歌の音程・音域・イクタスと経済状況の関係の分析 報告: 保原伸弘(一橋大学) 討論: 日置孝一(神戸大学)	15:00-15:45 論題: 管理職の自己評価に男女差は存在するの か? 報告: 大藪陽子(慶應義塾大学) 討論: 大竹文雄(大阪大学)	15:00-15:45 論題: 仮想的質問による消費理論の検証: 日米比較 報告: 窪田康平(大阪大学) 討論: 晝間文彦(早稲田大学)
15:45	休憩 15:45-16:00	休憩 15:45-16:00			
16:00	総会 16:00-16:45 45 min.	総会			
16:45	外国人講演 16:45-17:45 60 min.	招待講演 司会: 晝間文彦(早稲田大学) 16:45-17:35 論題: Using Decision Errors to Help People George Loewenstein (Carnegie Mellon University) 17:35-17:45 質疑応答			
17:45					
18:00	懇親会 18:00-20:00	懇親会 [レストラン花の木(グリーンサロン東山内)] 18:00-20:00 120 min.			
20:00					

2日目	12月13日	2階 ホール	1階 会議室 3	1階 会議室 2	1階 会議室 1
9:00	一般・教育者向け教育セッション 9:00-10:30 90 min.	一般向け教育セッション 「行動ファイナンス理論と投資」 座長: 真壁昭夫 (信州大学) 論題: 心と出会った経済学 — 行動ファイナンス理論の基本的考え方 講演: 真壁昭夫 (信州大学) 論題: 個人投資家が行動経済学から学べること 講演: 内藤 忍 (マネックス・ユニバーシティ) 論題: 投資家行動と行動ファイナンス理論 講演: 俊野雅司 (大和ファンド・コンサルティング) 論題: 行動ファイナンス理論の可能性と限界 講演: 三隅隆司 (一橋大学)	研究者向け教育セッション 「神経経済学」 座長: 大竹文雄 (大阪大学) 論題: 神経経済学・はじめの一步 講演: 田中沙織 (大阪大学) 論題: 社会行動における個人差と神経機構 講演: 春野雅彦 (玉川大学)		
10:30	休憩 10:30-10:45	休憩			
10:45	パネルディスカッション 10:45-12:45 120 min.	パネルディスカッション 「年金問題と行動経済学」 コーディネーター: 小塩隆士 (一橋大学) パネリスト: 臼杵政治 ((株)ニッセイ基礎研究所) パネリスト: 鈴木 亘 (学習院大学) パネリスト: 野尻哲史 (フィデリティ投信株式会社)			
12:45	ランチタイム 12:45-13:45 60 min. 新理事会		特別セッション 「マーケティング・消費者行動」 座長: 守口 剛 (早稲田大学)	一般報告セッション D 時間割引研究の新展開 座長: 田中沙織 (大阪大学)	一般報告セッション E 社会選択と制度設計 座長: 川越敏司 (公立はこだて未来大学)
13:45	一般報告セッション 特別セッション 13:45-16:00 135 min.		13:45-14:30 論題: 補償型購買意思決定と非補償型購買意思決定: 誰がいつどこで? 講演: 星野崇宏 (名古屋大学)	13:45-14:30 論題: Cultural Neuroeconomics of Intertemporal Choice 報告: 高橋泰城 (北海道大学) 討論: 筒井義郎 (大阪大学)	13:45-14:30 論題: 地方公共財供給制度の実験的手法による評価について—花粉症対策事業を題材として— 報告: 川西 諭 (上智大学) 竹内 幹 (一橋大学)
14:30			14:30-15:15 論題: 消費者の選好判断過程に及ぼす背景効果—fMRI による脳機能画像計測実験を用いて— 講演: 竹村和久 (早稲田大学)	14:30-15:15 論題: Patience for Savouring 報告: 中川雅央 (大阪大学) 討論: 兵庫一也 (龍谷大学)	14:30-15:15 論題: 観察的学習と社会規範の生成: インターネット実験による分析 報告: 佐々木俊一郎 (名古屋商科大学) 討論: 城下賢吾 (山口大学)
15:15			15:15-16:00 論題: 消費者は未来を「予知」できるか? —トレンド予測のフィールド実験 講演: 水野 誠 (明治大学)	15:15-16:00 論題: Tough Love and Discounting: Empirical Evidence 報告: 大垣昌夫 (慶應義塾大学) 討論: 依田高典 (京都大学)	15:15-16:00 論題: Committing to Promises by Guilt : A Generalized Approach 報告: 成田悠輔 (東京大学) 討論: 川越敏司 (公立はこだて未来大学)
16:00		閉会			